

平成25年度 環境測定分析士2級試験受験の手引

平成25年度 環境測定分析士資格認定試験

環境測定分析士2級

受験申込受付期間

平成25年6月1日（土）～ 平成25年7月31日（水）

※申込締切期日を7月31日まで延長します。

一次試験(筆記・実技試験)

筆記試験 平成25年10月13日（日）

筆記試験会場(全国7会場)

札幌会場、仙台会場、東京会場、名古屋会場、大阪会場、広島会場、
福岡会場

実技試験報告締切 平成25年11月5日（火）

二次試験(電話ヒヤリング試験)

電話ヒヤリング試験 平成26年1月12日（日）

一般社団法人 日本環境測定分析協会

平成25年7月10日修正

目

次

- 1 「環境測定分析士」制度について
- 2 認定資格の内容
- 3 環境測定分析士 2 級試験の受験資格
- 4 環境測定分析士 2 級試験の分野
- 5 試験スケジュール

- 6 受験の申込受付期間及び送付先
- 7 試験方法等
- 8 資格付与基準
- 9 筆記試験の日時・会場
- 10 実技試験の日時・会場
- 11 電話ヒヤリング試験の日時・会場

- 12 受験申込みの手続き
- 13 受験申込書類の記入方法
- 14 受験申込書類提出の際の注意事項
- 15 受験票の送付
- 16 筆記試験当日の注意事項

- 17 実技試験用試料の配付
- 18 電話ヒヤリング試験当日の注意事項
- 19 合否の通知
- 20 合格証書の交付
- 21 登録について

- 22 その他
- 23 環境測定分析士 2 級試験の分野(添付資料 1)
- 24 受験申込書(様式 1)
- 25 実務経験証明書(様式 2)

1 「環境測定分析士」制度について

- ◎ 21世紀を迎え環境問題は、地球的な規模においても、また我が国国内の地域的なレベルにおいてもますます大きな問題となってきております。また、国際的な貿易や新たな産業技術の発展と循環型社会への構築に対応していくことも必要になっております。そして、これらの局面で要求される測定技術は、専門化するとともに進展しており、特に高度な技術が必要となっております。

そこで、一般社団法人 日本環境測定分析協会では環境測定技術について、専門の知識だけでなく技術を有する者に対して、「環境測定分析士」の資格を与えることを通じて人材を育て、環境調査の精度の向上に資するとともに学問の発展に寄与していきたいと考えております。

- ◎ 「環境測定分析士」は、環境汚染物質等の分析及び測定業務を適切に遂行するために必要な知識及び技能を有していることを資格要件とし、次のとおり区分されます。

① 「環境測定分析士1級」

環境測定分析業務に必要な高度の専門的知識及び技能並びに分析実務者に対する指導能力を有していると認定された者

② 「環境測定分析士2級」

環境測定分析業務に必要な専門的知識及び技能を有していると認定された者

③ 「環境騒音・振動測定士上級」

環境騒音・振動測定業務に必要な専門的知識及び技能を有していると認定された者

④ 「環境測定分析士3級」

環境測定分析業務に必要な基礎的知識を有していると認定された者

⑤ 「環境騒音・振動測定士初級」

環境騒音・振動測定業務に必要な基礎的知識を有していると認定された者

- ◎ この「環境測定分析士資格認定試験」は、環境の測定分析を専門とする技術者の資格認定試験であり、合格者には、一般社団法人 日本環境測定分析協会 環境測定分析士認定委員会が「環境測定分析士」として認定を行います。

2 認定資格の内容

環境測定分析士2級試験に合格した者には、試験の分野ごとに合格証書を交付する。試験に合格した者が環境測定分析士となるには、(一社)日本環境測定分析協会の登録を受けなければならない。

3 環境測定分析士2級試験の受験資格

- ① 環境測定分析業務の実務経験が通算して3年以上並びに環境測定分析士3級試験に合格し認定証の交付を受けている者。

② 環境測定分析士2級試験のみなし規定について(みなし規定)

実務経験3年以上で、下記の有資格者については、環境測定分析士3級試験の認定証の交付を受けていなくても、直接、環境測定分析士2級試験を受験できるものとします。

(1) 技術士(環境部門) 登録者

※ 技術士(環境部門)登録証のコピーを提出してください。

(2) 環境計量士(濃度関係) 登録者

※ 環境計量士(濃度関係)登録証のコピーを提出してください。

(3) 第1種作業環境測定士

鉱物性粉塵、特定化学物質等、金属類、有機溶剤のうち、2種類以上の登録者

※ 2種類以上を登録した登録証のコピーを提出してください。

4 環境測定分析士 2 級試験の分野

- ① 環境測定分析士 2 級試験の分野を第 1 分野(一般項目)、第 2 分野(金属類)、第 3 分野(有機物類)、第 4 分野(超微量有機物類)の 4 分野とします。
- ・ 各分野の対象物質(項目)、前処理、測定装置については、受験の手引 目次番号 23 環境測定分析士 2 級試験の分野(添付資料 1)を参照してください。
 - ・ 環境測定分析士 2 級試験の分野は 4 分野とするが、各分野の受験については、1 回の受験では 1 分野しか受験できないものとします。

5 試験スケジュール

平成 25 年 5 月下旬	日環協ホームページに「受験の手引」掲載予定
↓	
6 月 1 日(土)	受験申込受付開始
↓	
7 月 31 日(水)	受験申込受付終了(当日消印有効)
↓	
9 月下旬	受験票発送
↓	
10 月 13 日(日)	筆記試験・実技試験試料配付
↓	
11 月 5 日(火)	実技試験報告締切
↓	
12 月中旬	一次試験(筆記試験及び実技試験)合格発表
↓	
平成 26 年 1 月 12 日(日)	電話ヒヤリング試験(二次試験)
↓	
2 月下旬	二次試験合格発表(環境測定分析士 2 級合格発表)
↓	
3 月下旬	合格証書の交付

6 受験の申込受付期間及び送付先

① 受付期間

平成 25 年 6 月 1 日(土)～7 月 31 日(水)まで
(申込書類の送付は、「特定記録」又は「簡易書留」とし、7 月 31 日(水)の消印まで有効とします。)

② 送付先

一般社団法人 日本環境測定分析協会「環境測定分析士資格認定試験」事務局
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2 丁目 3 番 4 号
TEL (03)3878-2811 FAX (03)3878-2639

② 受験申込書、実務経験証明書の用紙

様式 1 1 級試験受験申込書、様式 2 1 級試験実務経験証明書については、日環協ホームページに掲載されている受験の手引の用紙をコピーもしくは配布された受験の手引きに添付された用紙を使用してください。

提出された受験申込書に不備がある場合は、書類を返却させていただきます。
再提出する場合でも締切は平成25年7月31日（当日消印有効）ですので、早めに提出してください。

7 試験方法等

(1) 筆記試験の方法

① 試験の科目と内容

共通問題(4択) 環境汚染物質の分析、測定技術全般に関する知識
公害関連法規に関する知識

分野別問題(記述) 各分野の環境汚染物質の分析、測定技術に関する知識

② 試験形式、試験時間等

試験形式 4択問題、記述問題

試験時間 14:00～16:00

③ 参考書について

※「環境測定分析士1,2,3級及び環境騒音・振動測定士初級資格認定試験問題の解答と解説」(平成21年4月発行) 《第3回 平成20年度》

・注文先 (一社) 日本環境測定分析協会

・注文方法 原則として、FAXで注文してください。

FAXには、氏名、送付先住所、注文部数、電話番号等を必ず記入してください。

・価格 2,000円(消費税込み・送料無料)

・支払方法 FAXで注文後、参考書と一緒に「払込取扱票」を同封しますので、その「払込取扱票」を使用して振り込んでください。又、振込については、参考書が到着後、速やかにお願いたします。

※「模範問題の解答と解説」平成23年3月発行

(内容は、3級模範問題、初級模範問題、2級模範問題、1級模範問題に関する解答と解説です)。

注文方法は、平成21年4月発行の参考書と同様です。

※ その他 店頭販売はしません。

(2) 実技試験の方法

① 受験者は筆記試験の試験終了後に、実技試験試料を受領してください。

② 受験者は実技試験試料を持ち帰り、各事業所(各試験所)において自ら分析してください。
第1分野(一般項目)・・・陰イオン分析、富栄養化成分分析、生活環境項目試験、その他

第2分野(金属類)・・・金属分析、その他

第3分野(有機物類)・・・絶縁油中PCB分析、農薬分析、その他

第4分野(超微量有機物類)・・・ダイオキシン類分析、その他

※ 上記を参考とし、基本的には平成24年度2級実技試験試料と同様な試料を計画しています。

※ 第3分野(有機物類)のみについて、絶縁油中PCB分析試料のほかに農薬分析試料を追加しますので、環境測定分析士2級第3分野を受験される方は、2級試験受験申込書⑤実技試験場所の下欄に記載されている(※第3分野実技試験試料)※PCB・農薬のどちらかを選択し、○で囲んでください。

- ③ 受験者は実技試験試料に添付されている「分析結果報告書」に分析結果を、又、「実技試験計画・実施報告書」に必要事項を記載して、日環協資格認定試験事務局に送付してください。
 - ④ 実技試験については、必ず自分自身で分析してください。共同で分析したり、他人の助けを借りて分析した場合には不合格となる恐れがあります。
- (3) 電話ヒヤリング試験の方法
- ① 日環協本部より、試験官から受験者各自への電話によるヒヤリング(質疑応答)とします。
 - ② 試験官は2名1組とします。
 - ③ 電話ヒヤリング時間は、原則として約15分間/人、最大20分間以内とします。
 - ④ 電話番号を間違えるとヒヤリングができませんので、受験申込書の電話番号は、絶対に間違えないでください。また、電話番号が変更になった場合は、すみやかにご連絡ください。

8 資格付与基準

環境測定分析士2級試験については、環境汚染物質の分析・測定技術に関する専門的知識及び関連法規に関する知識を有していると認定された者に資格を付与します。

9 筆記試験の日時・会場

(1) 筆記試験日時

平成25年10月13日(日) 午後1時45分から午後4時まで

- ・ 受付時間 午後1時15分

試験の注意事項説明 午後1時45分～午後2時

※試験開始前に試験に関する注意事項の説明を行いますので、午後1時40分には着席してください。

- ・ 試験時間 午後2時～午後4時

(2) 筆記試験会場(全国7会場)

札幌会場、仙台会場、東京会場、名古屋会場、大阪会場、広島会場、福岡会場

10 実技試験の日時・会場

(1) 実技試験日時

① 試料受領後、約20日間以内に分析・報告してください。

② 分析結果については、実技試験試料に同封されている分析結果報告書に分析値を記入し、上司の証明を受けて(上司の捺印要)日環協資格認定試験事務局に送付してください。

(2) 実技試験会場

受験者の所属する事業所(試験所)で行ってください。

(3) 実技試験報告の締切

平成25年11月5日(火)までに、日環協 資格認定試験事務局に返送してください。

11 電話ヒヤリング試験の日時・会場

電話ヒヤリング試験日時の日時・会場の概略は以下の通りです。詳細については、一次試験合

格者に通知するとともに、日環協 ホームページに掲示します。

(1) 日時 平成26年1月12日(日) 13:00~17:00

(2) 電話ヒヤリング試験希望場所

各自の指定する電話番号の場所(固定電話・携帯電話)を会場とします。

日環協本部から試験官が、各自の指定する電話番号に電話し、ヒヤリングします。

受験申込書に各自の指定する電話番号を確実に記入してください。

1.2 受験申込みの手続き

(1) 受験申込関係書類

- ① 受験申込書は、所定の用紙を使用してください。
- ② 受験申込書に記入洩れや誤記入がある場合、又は必要な書類が添付されていない場合は受理できませんのでよく確認して提出してください。
- ③ 受験申込書は、申請者ごとに所定の封筒に入れて「特定記録」又は「簡易書留」により送付してください。
- ④ 受験申込み時に提出する書類

必要書類	備考
(1) 受験申込書(様式1)	所定の用紙に記入してください。
(2) 写真票(様式1)	裏面に氏名を記載し、糊付けのこと(受験申込書(様式1)。写真票の氏名欄に氏名(フリガナ)を記入してください。
(3) 添付資料 受験申込書に添付するもの	①3級認定証のコピー ②技術士(環境部門)登録証のコピー ③環境計量士(濃度関係)登録証のコピー ④第1種作業環境測定士の2種類以上が登録された登録証のコピー
(4) 実務経験証明書(様式2)	所定の証明を受けてください。
(5) 受験料払込済み票のコピー	郵便局に振り込んだ証明書をコピーして貼付してください。

(2) 受験料及び振込方法

- ① 受験料 17,000円
- ② 郵便局備え付けの「払込取扱票」により振り込んでください。
- ③ 「郵便振替払込受領証」は、コピーして受験申込書に貼付してください(振込手数料は個人負担です)。

振込先 ; ゆうちょ銀行(郵便局)
口座記号番号 ; 00150-9-98103
加入者名(口座名義) ; 一般社団法人 日本環境測定分析協会
金額 ; 17,000円
ご依頼人 ; 氏名
備考 ; 分析士2級試験受験料

※郵便振替払込請求書兼受領証の備考欄に必ず「分析士2級試験受験料」と記載してください。

※振込後の受験料は、受験申込書を提出されない場合及び受験をしない場合等いかなる場合でも、払い戻しはいたしません。

1.3 受験申込み書類の記入方法

受験申込み書類は、黒ボールペンを使用し、楷書で記入してください。

※印の欄は記入しないでください。

書き損じた場合は、＝（二重線）を引いて訂正してください。

(1) 2級試験受験申込書(様式1)

① 氏名

氏名とフリガナを、楷書で記入してください。

② 生年月日

生年月日と申込み時点での年齢を記入してください。

③ 分野(試験区分)

環境測定分析士2級分野の4分野で受験を希望する分野を○でかこんでください。

受験を希望する分野を絶対に間違えないでください。

④ 筆記試験受験希望場所

筆記試験受験場所は、全国7会場で実施しますので、筆記試験希望場所を必ず記入してください(受験申込書④項)。但し、会場の都合で希望に添えない場合があります。

⑤ 実技試験場所

実技試験場所は、受験者が所属する各事業所(各試験所)を原則とします。実技試験場所を必ず記入してください(事業所名又は試験所名及び分析を行う分析室名称)。

⑥ 電話ヒヤリング試験希望場所

- ・ 各自の指定する電話番号の場所(固定電話・携帯電話)を試験会場としますので、その電話番号を記入してください。
- ・ 固定電話・携帯電話の種別に“○”をつけてください。絶対に電話番号を間違えないでください。間違えますと電話が通じず、ヒヤリング試験ができません。
- ・ 電話ヒヤリング試験受験票に、ヒヤリング期日、時間、電話の種別、電話番号、電話場所を記入して送付します。

⑦ 実務経験年数

実務経験年数を記入してください。

実務経験内容は、「実務経験証明書」(様式2)に記入してください。

⑧ 現住所

住所は、マンション・アパート名、棟番号、部屋番号と電話番号も記入してください。住所については、郵便物が確実に届くように正確に記入してください。又、電話番号も、確実に連絡が取れる電話番号を記入してください。

⑨ 勤務先又は学校名

勤務先の所属は部課名まで記入し、それぞれフリガナをふってください。

⑩ 添付資料

該当する項目に“○”をつけてください。

(2) 写真票

① 氏名

2級試験受験申込書(様式1)の写真票に氏名(フリガナ)を記入してください。

② 顔写真

本人の顔写真(カラー)を、糊で貼付してください。

大きさはパスポートサイズ(縦4.5cm×横3.5cm)とします。

写真については、2級試験受験申込書(様式1)に貼付してください。

(3) 郵便振替払込受領書のコピー

郵便局で受験料を振込んだ際の「郵便振替払込受領証」のコピーを、糊で貼付してください。

(4) 2級試験実務経験証明書(様式2)

① 氏名

氏名とフリガナを、楷書で記入し、捺印してください。

② 現住所

受験申込書と同じ住所を記入してください。

③ 生年月日

生年月日を記入してください。

④ 最終学歴

最終の学歴を、学部・学科とともに記入してください。

⑤ 最終学歴卒業年月

最終学歴の卒業又は修了年月を記入してください。

⑥ 実務経歴

実務の経歴をできる限りわかりやすく記入してください。

※ 実務の経歴について、所属する会社・機関の職場の代表者(直接の上司で可)の捺印をもらってください。

※ 転職等による過去の実務経験証明については、現在、所属する会社・機関の職場の代表者(直接の上司で可)に証明していただくことで構いません。

1.4 受験申込書類提出の際の注意事項

- ① 受験申込書類は、A4サイズの封筒を使用して、必ず「特定記録」又は「簡易書留」で郵送してください。平成25年7月31日(水)の消印があるものまで有効です。
- ② 提出された受験申込書類に不備がある場合は返却させていただきますので、十分にご確認のうえ提出してください。

送付前に、もう一度お確かめください。

- 様式1「2級試験受験申込書」に記入もれはありませんか。
- 様式1「2級試験受験申込書」の電話番号は間違いありませんか。この電話番号を間違えると電話ヒヤリング試験ができませんので、ご注意ください。
- 様式1「2級試験受験申込書」写真票の写真は、はがれることはありませんか。
- 郵便振替払込受領書のコピーも、はがれることはありませんか。
- 様式2「2級試験実務経験証明書」に記入もれはありませんか。
- 3級試験の認定証のコピー等必要な資料は添付されていますか。
- 送付の封筒に自分のお名前を書きましたか。

1.5 受験票の送付

- ① 受験の申込みをされた方は、平成25年9月下旬を目途に、受験票をお送りします。
- ② 受験票が平成25年10月上旬までに届かない場合には、日環協「環境測定分析士資格認定試験事務局」までお問い合わせください。

1.6 筆記試験当日の注意事項

(1) 試験当日について

- ・ 受験票は必ずお持ちください。受験票がない場合は受験できません。
- ・ 午後1時45分から試験に関するガイダンスを行います。
- ・ 試験開始から1時間以内は退室することができません。また、一度退室したら、その試験が終了するまでは、再入室することはできません。
- ・ 遅刻は原則として認めません。但し、電車などの遅延によりやむを得ない場合に限り、試験開始後30分間は認めますが、それ以降の入室は認めません。

(2) 試験について

- ・ 筆記具(B又はHB)の鉛筆、消しゴム等を必ずご持参ください。
- ・ ボールペンを使用すると採点ができなくなりますので、絶対に使用しないでください。
- ・ 電卓、書籍、資料などを使用することはできません。
- ・ 携帯電話の電源は必ずお切りください。
- ・ 不正行為を行った場合又は試験監督者の指示に従わない場合は、試験途中でも退室していただくことがあります。

(3) その他

- ・ 試験会場への交通は、電車、バス等の公共交通機関をご利用ください。
〈試験会場には駐車場がございません。〉
- ・ 喫煙は、指定された場所以外はすべて禁止します。
- ・ ゴミが出た場合は、各自で持ち帰りください。
- ・ 外部からの電話の取次ぎや、呼び出しは受け付けられませんので、予めご了承ください。

1.7 実技試験用試料の配付

筆記試験の当日、試験終了後試験会場において実技試験試料を受験者に配付いたします。

1.8 電話ヒヤリング試験当日の注意事項

- (1) 各自の指定する電話番号の場所(固定電話・携帯電話)を会場としますので、絶対に電話番号を間違えないでください。間違えますと電話が通じません。
- (2) 電話ヒヤリング受験票に、ヒヤリング期日、時間、場所、電話番号等を記入して送付します。受験票の内容に間違いがあった場合は、すみやかにご連絡ください。
- (3) 電話ヒヤリングの注意事項については、電話ヒヤリング試験受験票に添付します。

1.9 合否の通知

(1) 一次試験(筆記試験及び実技試験)の合格通知

平成25年12月中旬頃に日環協 ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には電話ヒヤリング試験受験票を送付します。

(2) 二次試験(電話ヒヤリング試験)の合格通知 (環境測定分析士2級合格通知)

平成26年2月下旬頃に、日環協 ホームページに合格者の受験番号を掲示します。

2.0 合格証書の交付

- (1) 二次試験に合格した者には、平成26年3月下旬頃までに「環境測定分析士2級試験 合格証書」を交付します。
- (2) 合格証書は分野ごとに交付します。

2.1 登録について

- (1) 試験に合格した者が「環境測定分析士 2 級」になるには、日環協の登録を受ける必要があります。
- (2) 登録に関する手続き方法については、日環協 ホームページに掲載してあります。
- (3) 登録申請書を提出後、登録証を送付いたします。

2.2 その他

平成 26 年度は、環境騒音・振動測定士上級試験を実施します。

2.3 環境測定分析士 2 級試験の分野(添付資料 1)

2.4 2 級試験受験申込書(様式 1)

2.5 2 級試験実務経験証明書(様式 2)

23 添付資料 1

環境測定分析士2級試験の分野について 平成25年5月10日 修正

<ul style="list-style-type: none"> ・環境測定分析士2級試験は、第1分野(一般項目)、第2分野(金属類)、第3分野(有機物類)、第4分野(超微量有機物類)の4分野に区分する。 ・一次試験として、筆記試験及び実技試験を行う。 ・二次試験として、電話ヒヤリング試験を行う。 			
分野	対象物質(項目)	測定方法(前処理含む)	測定装置
第1分野 (一般項目)	NO ₃ ⁻ , NO ₂ ⁻ , T-N NH ₄ ⁻ , PO ₄ ⁻ , T-P F ⁻ , Cl ⁻ , Br ⁻ , BrO ₃ ⁻ フェノール類, CN ⁻ , S CrO ₄ ⁻ , COD, BOD, TOC, TOD DO, pH その他(アスベスト類)	蒸留 抽出 発色 検量線の作成 濃度計算	分光光度計 イオンクロマトグラフ フローインジェクション 電極(pH, DO) X線回折装置 顕微鏡
第2分野 (金属類)	Cd, Pb, Cu Zn, Fe, Mn Al, Ti, Ni Cr, Ca, Mg, 6価クロム Na, K Hg, As, Se, R-Hg Sb, B,	酸分解 マイクロウェーブ分解 水素化物発生, 還元気化 アルカリ融解 濃度計算	フレイム原子吸光光度計 フレイムレス原子吸光光度計 ICP発光分光計 ICP質量分析計 水素化物発生装置 還元気化原子吸光計 分光光度計
第3分野 (有機物類)	環境基準農薬(3項目) 要監視基準農薬(13項目) ゴルフ場農薬(45項目) 水道法農薬(101項目) 可塑剤 環境ホルモン 揮発性有機化合物(VOC) 悪臭物質, 有機リン 絶縁油中PCB	溶媒抽出 固相抽出 誘導化処理 クリーンアップ GC/LCカラムの選択 濃度計算	ガスクロマトグラフ 液体クロマトグラフ ガスクロマトグラフ/四重極型 質量分析計 液体クロマトグラフ/四重極型 質量分析計
第4分野 (超微量有機物類)	ダイオキシン類 POPs条約指定項目(POPs条約追加 指定項目を含む) ※ POPs・・・残留性有機汚染物質	溶媒抽出 固相抽出 クリーンアップ カラムの選択 濃度計算	ガスクロマトグラフ/二重収束 型質量分析計(高分解 能) ガスクロマトグラフ/四重極型 (NCI) 液体クロマトグラフ/四重極型 (タンデム型を含む)

2 級 試 験 受 験 申 込 書

①(フリガナ) 氏 名	②生年月日 昭和・平成 年 月 日生(満 歳)	※受験番号 記入しないで下さい
③環境測定分析士2級分野(○でかこむ) 1. 第1分野(一般項目) 2. 第2分野(金属類) 3. 第3分野(有機物類) 4. 第4分野(超微量有機物類)	④筆記試験受験希望場所	※PCB・農薬(第3分野受験者のみどちらかを○で囲む) 場所 自宅・会社・その他 種別 固定・携帯 電話番号
	⑤実技試験場所 (※第3分野実技試験試料)	
	⑥ 電話ヒヤリング試験 場所・種別・電話番号	
⑦実務経験年数 年 ◇実務経験内容は別紙、様式2にお書き下さい。		
⑧現住所 〒 都道府県 市区町村 (フリガナ) TEL		
⑨勤務先又は学校名 部・課又は学科 (フリガナ) 名称		
〒 都道府県 市区町村 TEL		
⑩添付資料(該当する項目に○印をつけてください)・・・みなし規定該当者 (1) 3級試験認定証コピー (2) 技術士(環境部門)登録証コピー (3) 環境計量士(濃度関係)登録証コピー (4) 第1種作業環境測定士関連登録証コピー		

「郵便振替払込受領証」のコピーを貼り付けて下さい。

写 真 票	
※受験番号	
記入しないで下さい	
フリガナ 氏名	

顔写真(のりづけ) 以下の条件を満たし本人と確認できるものをお貼り下さい。 ①カラー ②パスポートサイズ(縦4.5cm×横3.5cm) ③半身・脱帽 ④無背景
--

17,000 円

2 級 試 験 実 務 経 験 証 明 書

フリガナ ①氏名	印	※受験番号
		記入しないで下さい。
②現住所	〒 — Tel — —	③生年月日 昭和・平成 年 月 日 生
④最終学歴	学校名 学部・学科	⑤最終卒業または修了年月 昭和・平成 年 月

⑥実務経歴							
勤務先 (部まで)	所在地 (市区まで)	役職等	実務経験内容	実務期間		年月数	
				年・月～年・月	年	月	

<p>上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">住 所</p> <p style="text-align: center;">所属する機関</p> <p style="text-align: center;">所属の代表者</p> <p style="text-align: center;">(直属の上司で可)</p> <p style="text-align: right;">印</p>
--